

ひがしっ子

No.6 平成 29 年 5 月 30 日発行 文責 学校長 岡林 章子

運動会、ご声援とお手伝いのお礼 そして、体も心も成長しました

5月28日(日)は、天気にも恵まれ運動会を盛大に開催することができました。多くの保護者・地域の皆様から温かいご声援をいただき、心から感謝申しあげます。子どもたちも、規律を守っての集団行動、力を合わせての表現運動や組み立て体操など、立派に練習の成果を見せてくれました。応援団の子どもたちもきびきびとした応援で運動会を大いに盛り上げてくれました。

運動会は、体だけでなく、仲間と共に力を合わせて取り組むことで、心も大きく成長する機会となります。そんな姿が感じられた、今年度、紅白の応援団長を立派にやりとげた、6年生2人の詩と作文を紹介します。

「私の友」 6年阿部花論（赤組応援団長）

応援団長になった。

5年間という長い間

あこがれていた団長においついた。

靴箱に 美しく優しい友がいた。

友も団長になっていた。

涙せんがゆるんだ。

門を出てから何がなんだか分からないくらい泣いた。

二人に言葉はいらなかった。

肩を組んで涙を流しながらただ歩いた。

運動会の赤と白 赤と白はライバル。

「ライバルやけど、お互いがんばろうや。敵じゃないき。」

と私が言うと友はうなづいた。

私には美しく優しくて、友でありライバルでもあり、心を支えてくれる大好きな友がいます。

これからは、前を向いて進んでいきます、

勝っても負けても二人でまた泣きます。

私には通じ合う友が。美しく優しい友には私が。

助け合って進んでいきます。

いっしょに進んでいきます。

「ありがとう」 6年池知美優（白組応援団長）

先生が花論さんの詩を読んで、私はその内容にびっくりしました。だから、今日は私が書きます。

私は幼いころ、とても暗くて友達が少なく、人になじめない人でした。でも、花論さんに会って、仲良くするようになってから、自分が変わったと思います。私の人柄や人間関係を変えてくれたのが花論さん、あなたです。もちろん、多くの友達に仲良くしてもらっています。そのことについて、とても感謝しています。3年生のころ、「6年生になったら、二人で応援団長になろう。」と言って、私達は約束をしていたそうです。私は覚えていないけど、花論さんが言っていました。

花論さんは、私のことを「美しく、優しい友」と言ってくれて、とてもうれしいです。私が花論さんをたとえるなら「花のように明るく、論を大切にしている素晴らしい友」と言えるでしょう。花論さんは、人をまとめる力があって、人との関わりを多く持ち、私のあこがれであり、大切な友です。いつもありがとう。

運動会の後、二人で何をしているか、私は今でも目に見えます。最後なら勝つ。それもありませんが、ライバルと泣く・笑う・戦うが、最後になる私の運動会にふさわしいと思います。大切な友よ。正々堂々と戦おうではないか！運動会に向け、努力を重ね、互いにいどみます。

運動会で発揮した「仲間と協力し合う心」「あきらめず、一生懸命努力する姿」をこれからの学校生活でも生かしてほしいと願っています。



潮江東小学校通信「ひがしっ子」No.6 返信欄

[年 組 氏 名]

こども詩集『やまもも』第41集に 本校児童の作品が掲載

高知県こども詩集『やまもも』の第41集が発刊され、本校からも、それぞれ9人の児童の詩とカット(挿絵)が掲載されています。おめでとうございます。学校でも販売しています。

〔詩が掲載された児童〕

- 2年 長瀬 美樹さん
- 3年 岳田 未空さん
- 4年 武田 美侑さん
- 5年 大崎由梨亜さん
- 6年 森 大晟さん
- 木原 雛花さん

前6年 山川 蒼さん(中1)

〔挿絵が掲載された児童〕

- 5年 岡本 奈々さん
- 溝口 泰正さん

児童詩集『やまもも』
第41集
「1年分わらった」



*代表して6年生の2人の詩を紹介します。

お兄ちゃんとドライブ

森 大晟

「お兄ちゃん気をつけてよ」
助手席にすわったぼくは
シートベルトをにぎりしめた
「安心しいや」
お兄ちゃんは前を見ながら言った
エンジンがかかった
お兄ちゃんを見たら
ハンドルを両手でがっちりぎっている
うでは少しふるえていた
横のぼくまでふるえてきた
本当に桂浜まで着くがやろうか
「リラックスしいや」
と、お兄ちゃんに言った
「ありがとう」
と言った、お兄ちゃんのふるえは止まらない
ガタンと車がゆれるたび
おろしてほしくなる
桂浜はまだやろうか

お年ごろ

木原 雛花

「何」
お兄ちゃんがおこっている
理由が分からん
よんだだけやのになんでおこるが
お兄ちゃんはむきになる
中学に入ってからや
お母さんに相談すると
「お年ごろやき仕方ないわね」
と言われる
お母さんたちに反抗せんやん
心の中は少しさみしい
ご飯のときも
よんだときも
いつもおこっているみたいや
お年ごろって何なが？



PTAのご協力にも感謝

前日午後や当日朝の準備、終了後の片付け、駐輪場のお世話等では、多くの保護者や地域の皆様がお手伝いをしてくださいました。ありがとうございました。



5年生が「潮江菜」のハウスを見学

本校では、昨年度から、新田町の農家、熊澤秀治さんのご協力をいただき、熊澤さんが3年前から取り組まれている、土佐の伝統野菜の1つ、「潮江菜」の栽培や伝承について学習をしています。

「潮江菜」は、牧野富太郎博士に指示をされた竹田功氏(故人)が、収集・保存していた伝統野菜の種子の再現を依頼された熊澤さんが生産を始めた作物です。その後、熊澤さんを中心に、「Team Makino」を結成し、これらの作物を「牧野野菜」と名付け、復活に向けた活動が始まっています。

5月23日(火)、第1回目の学習として、5年生が熊澤さんのビニールハウスに出かけていき、実際に「潮江菜」を見学させていただき、熊澤さんから、生産に至るまでのお話をいろいろお聞きすることができました。

これからも、この「潮江菜」等伝統野菜の伝承に携わっている皆さんから、様々な体験をさせていただく予定です。

